

みなしご通信



負傷猫復活 攻めの処置が奏功

4月27日、広島本部に意識不明の負傷猫が呉市のセンターから来ました。広島の人からはこの子の動きを映した動画とともに「非常に厳しい状態なのでこのままゆっくりさせようと思います」というコメント。私も呉市のセンターで施した応急処置の内容を見て『確かにこの処置が済んだらならすでに現段階ですべてあげられることはないね』と答えました。

4月30日「顔色がええので強食したら飲み込みました」が頭頂部がブヨブヨして明らかに「なにかが溜まっている」とのこと。ならばその一点に絞ろう！治療方針が決まりました。そしてついに、5月2日強食の後に《自発的にグルーミング》まさかね：こんな



《将来性がある動画》が届くとは思っていませんでした。さらに5月6日、ついに退院サポートを自分で食べ始めました。これは広島本部の者たちの努力のタマモノであることに違いありませんが、何より最初に呉市のセンターが施した《攻めの応急処置》があつてこそなんですよね！

呉市の搬送台帳の応急処置欄を見たとき『私に負けんぐらい攻めるじゃん』と思いましたが、思いません♪

やっぱ負傷猫は★どんな状態であろうが絶対にあきらめちゃうダメだし★最初の数日間は攻めた応急処置をしないと戻れるもんも戻れんのじゃ：と強く感じました。

困惑する市役所

栃木県矢板市民が市役所に乳飲み子の子猫を持ち込み、生活環境課が栃木県のセンターに連絡し引き取ってもらおうとしたところ栃木県のセンターから「猫は引き取らない」と拒否されたとのこと。※去年までは市役所に持ち込まれた猫はセンターに連れて行かれ殺処分されていました。矢板市役所生活環境課は譲渡先も探せないし「このままじゃ死ぬから」とうちに相談してきました。

私は過去、繁殖屋の件でこの生活環境課とはいろいろあつて私的にこの生活環境課を許せる道理は1ミリもありません。どくせ今回も翌日から市役所はGWじゃし「今日のうちになんとか」と考えて相談してきた程度でしようしハイハイと鼻の下を伸ばして引き取るのもシヤクなんで「栃木拠点まで連れて来るなら私は気持ちよく引き取るがどくせじゃ？すべては矢板市役所生活環境課《次第》じゃ」と答えました。そして私がその日の活動を終え栃木拠点



に戻ると矢板市役所から乳飲み子が2匹来ていました。連れて来たんじゃ！やる気になりやうできるってことじゃ！しかし、こちらの乳飲み子はなんとも弱々しいのです。きょうだいなのか別々なのか、路上にいたのか多頭現場からなのか：なんもわからんまま。市役所つてここはよくもまあ今までこんな無責任な引き取りをしてきたよね。

法改正に伴い日本中のセンターが《むやみに》猫を引き取らなくなったから、市役所が今までみたいに《簡単に》市民から猫を引き取っていたら困ることになります。矢板市役所生活環境課も2匹の乳飲み子のお蔭でそのことがよくわかったと思います。でこの連休が明けたら私は自称・動物愛護家として矢板市役所に出向き、同じような案件があつたらどう対応したらよいか《役場がとるべき正しい選択》を伝授しよう！と思っております。いやしく楽しみ♪

北海道の問題

犬猫みなしご救援隊 芦別 拠点のTNR専門です。責任者の曾屋夫婦は仏さまに砂糖をまぶしたぐらい《ひどい》。今回は独居老人が孤独死した現場とその付近の猫たちを12匹捕まえて手術しましたが※最初の話だと6匹(笑) 帯には他にもワラワラ猫がいて捕まえた12匹と捕まらなかつた子たちはみんな同じ系統でそっくりでした。

今年冬のすごい積雪があつた頃、やはり同じように猫を複数飼っていた老人が孤独死し、一報を受けた曾屋嫁がすぐに現場に駆けつけました。芦別拠点はTNR専門の拠点ですが極寒の中建物内に残された猫がいると聞いて『行くな!』とも言えず『困ったなあ』とゆるのが正直な心情。現場では警察員がバタバタ入った際猫がパニックになり1匹が逃げ出したそうで曾屋嫁が何日も通って捕獲器を仕掛けたりしたけど、今まで室内しか知らない猫が急に極寒の中に出てどうやって生きていけるのか:現在もその子は消息不明のままです。その後1匹はねこ親さんが決まり2匹は今も曾屋宅にいます。※検査の結果1匹は糖尿病。

今後こんな感じで芦別拠点には猫飼養老人の孤独死相談が増えていくでしょうからせめて不妊・去勢手術だけでも全世帯にかけあつていきたいと思います。今回舞い込んできた芦別市近郊の町の《野良猫100匹超え案件》は個人宅ではなく倉庫街でのことなので、そこにいる猫たちの今後の身の安全保証とか管理会社ともいろいろ話をしなきゃだし、もちろん手術費用にあてる資金調達もしなきゃだし。個人的には食べ物が激減したキタキツネが餓死しているという問題も非常に気になるし:この身を半分に分けたい北海道に半分置いて帰りたい気分。10年前に初めて芦別市の野花南・猫多頭飼養現場に医療

咬みつきシロ



《咬みつきシロちゃん》の爪をチェック! 相変わらずシロは私を見たら飛びかかる勢いで怒ります(笑)うちの者が言うには頭をヨシヨシできるし部屋の掃除もできるのだそう! ホンマかいな? 私にはコレですよ(笑) ええじゃない! 土の上を走り回れるから爪が伸びる! 写真の顔は「寄るな!

チームを組んで行ったときは『最初で最後の北海道TNRだ』と思って、北の大地の空気をうんと吸って帰ったんだけど、まさかまさかこんな何回も北海道に行くなんて:まさかまさかこんな多くの北海道あるある問題が自分の目の前に迫ってくるなんて。10年前の私は1ミリも想像していませんでした。

朝から元気姉妹



夜行性なのに朝から遊ぶハクビシンの日野姉妹。1日3回のみ運動時間なので朝だろうが夜だろうが有効に使わなきゃね♪ 朝ごはんの準備ができるころケージに戻って、ナチュラルプラスのヤギミルク(3倍希釈)を毎朝150ccぐらい飲みます。見た目も動きもそっくりの日野姉妹:可愛すぎて私のスマホの写真はこの2匹だらけ(笑)

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

NPO法人 (特定非営利活動法人)
犬猫みなしご救援隊
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
〒731-0234
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

YAHOO! JAPAN ネット募金

つながる募金
▲ネットやスマホで当団体に募金できます

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページに掲載しております。「みなしご通信」で検索してみてください。